

Azure Virtual Desktop への対応について

更新：2023 年 12 月

- ◆ 一部の製品は、Azure Virtual Desktop 環境にも対応しております。
対応可能な製品と環境は下記のとおりです。

- ・対応可能な製品と環境

- ・Windows 10、Windows 11 に対応可能な製品

- ・対応可能な製品：

- ・JP1/Integrated Management 3 - Manager [View] 13-00 以降

- ・JP1/Automatic Job Management System 3 - View [View] 13-00 以降

- ・JP1/Automatic Job Management System 3 - View [Print Option] 13-00 以降

- ・[64-bit for Excel] JP1/Automatic Job Management System 3 - Definition Assistant 13-00 以降

- ・JP1/IT Desktop Management 2 - Manager [Agent] 13-00 以降

[]内は対応製品に含まれるコンポーネントまたはサブコンポーネントです。

- ・対応可能な環境：

- ・Windows 10、Windows 11

- ・Excel を前提としている製品は、対象製品がサポーとしている Office サブスクリプションサービスの Microsoft Excel

※シングルセッション構成に対応します。

※Azure Virtual Desktop への接続は、Windows 用リモート デスクトップ クライアント、
リモート デスクトップ Web クライアントからの接続をサポートします。

*1：Web クライアントの設定 で、「リモート キーボード レイアウトを選択する」の
ドロップダウンボックスにて、日本語のキーボードレイアウト（「日本語(106/109 キー)」）
を選択いただくことで、日本語入力が安定します。

- ・前提条件：

対象製品が対応している Windows 環境と同等の機能範囲でサポートします。Microsoft Excel を前提
としている製品の、Azure Virtual Desktop 環境でのライセンスおよび使用条件については、
Microsoft Excel 購入元（提供元）に確認してください。

- ・サポートサービスについて：

Azure Virtual Desktop 環境サポートサービスの考え方は、JP1 をクラウドプラットフォームで
ご利用いただく場合の考え方のサポートサービスについてと同様です。

—以上—